

3. 用語解説

【外部評価】

大学等が行う事業等について、大学等が選定する学校外者から評価を受けること。

【科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）】

学術を振興し、独創的・先駆的な研究を発展させることを目的として人文・社会科学から自然科学に至るあらゆる分野の学術研究活動を対象に助成される仕組み。通称、「科研費」と呼ばれる。我が国最大規模の競争的研究資金制度である。独立行政法人日本学術振興会における基金（学術研究助成基金）及び国の補助金（科学研究費補助金）により助成される。公募制となっており、各研究者が提出する研究計画書に基づき、ピア・レビューによる審査が行われる。研究種目により文部科学省又は独立行政法人日本学術振興会が取扱う。

【共同研究】

大学等が企業・学校外機関等から研究者及び研究経費を受け入れて、教員が企業・学校外機関等の研究者や技術者と共通の課題について共同して行う研究。

【高等専門学校等を活用した中小企業人材育成事業】

高等専門学校等が有する設備やノウハウを活用し、地域の中小企業のニーズに即した講座と実習を一体的に実施することで、中小企業の若手技術者育成を支援することを目的として中小企業庁が実施している事業。

【受託研究】

民間企業や国の機関又は地方公共団体等の機関から委託を受けて教員が行う研究で、これに要する諸経費を委託者が負担する。

【奨学寄附金制度】

民間企業等から教育研究の奨励を目的とした寄附を受け入れる制度。